

2026年6月5日

個人投資家様向け会社説明会

 **多木化学株式会社** (証券コード：4025)

代表取締役社長 多木 勝彦

本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

3. 業績・財務状況

4. 株主還元・株価推移

5. サステナビリティへの取り組み

本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

3. 業績・財務状況

4. 株主還元・株価推移

5. サステナビリティへの取り組み

1. 会社概要

グループ理念

多木化学グループは創業者精神に則り自然と環境を守り
確かな価値の創造を通じて豊かな社会の実現に貢献します

社 名：多木化学株式会社
(英文社名：Taki Chemical Co., Ltd.)
本社所在地：兵庫県加古川市別府町新野辺3050番地
創 業：1885年（明治18年）3月 創業140年
代 表 者：代表取締役社長 多木 勝彦
上場取引所：(東証)プライム市場
(証券コード：4025)



1. 会社概要 – 創業から現在まで –

1885年 創業

日本初の
人造肥料として
骨粉の製造を開始

1969年

水処理用凝集剤(PAC)
工場が完成

1970年 千葉工場
1996年 九州工場

1988年

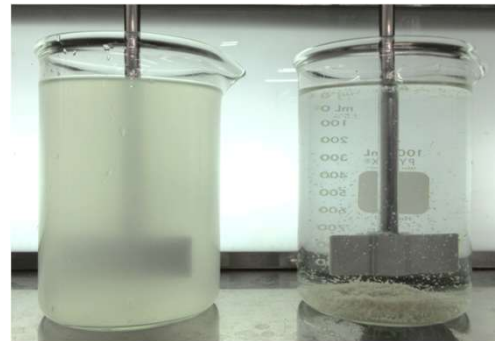
ショッピングセンター
用商業ビル
「グリーンプラザべふ」
を建設

1991年

高純度酸化タンタル・
酸化ニオブ製造設備
を新設

1949年

大阪証券取引所
に株式を上場



処理前

処理後

世界初 PACを開発

2013年

東京証券取引所
第一部に上場

2022年

プライム市場へ
移行

創業140年の歴史

多木化学株式会社

1. 会社概要 – 基本データ –

生産拠点

3 箇所

事業所数

6 箇所

資本金※

2,147 百万円

連結総資産※

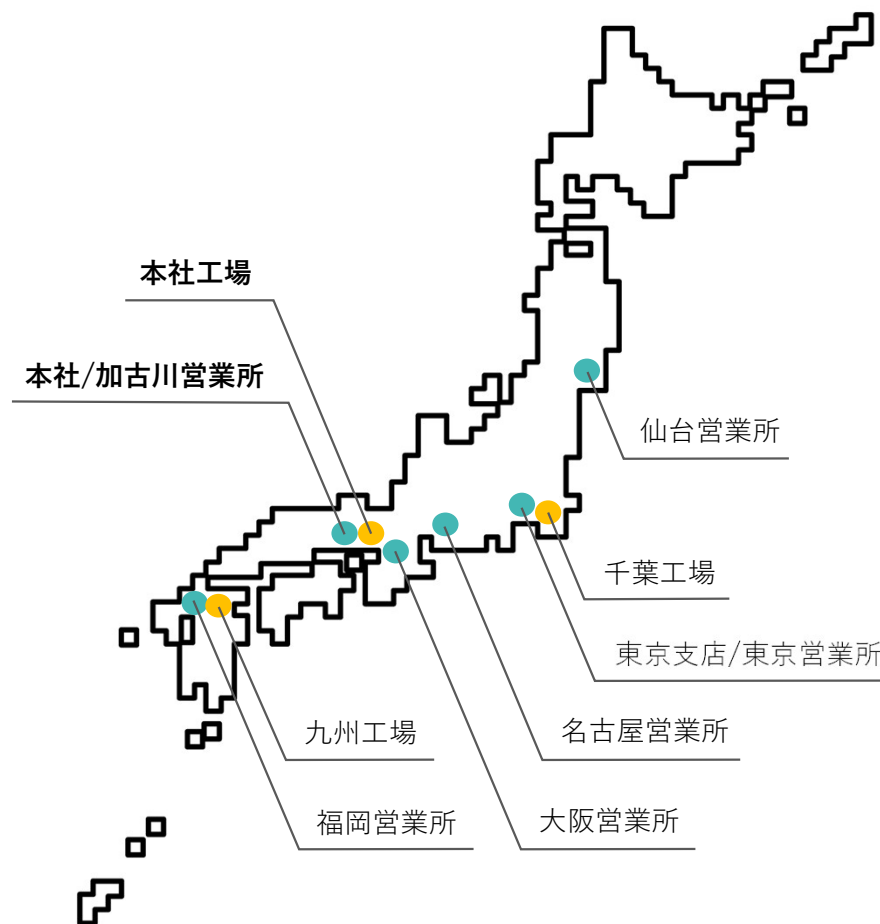
65,653 百万円

取引先数

約 6,000 社

連結従業員数※

640 人



※ 2025年12月末現在

1. 会社概要 – グループ概要 –

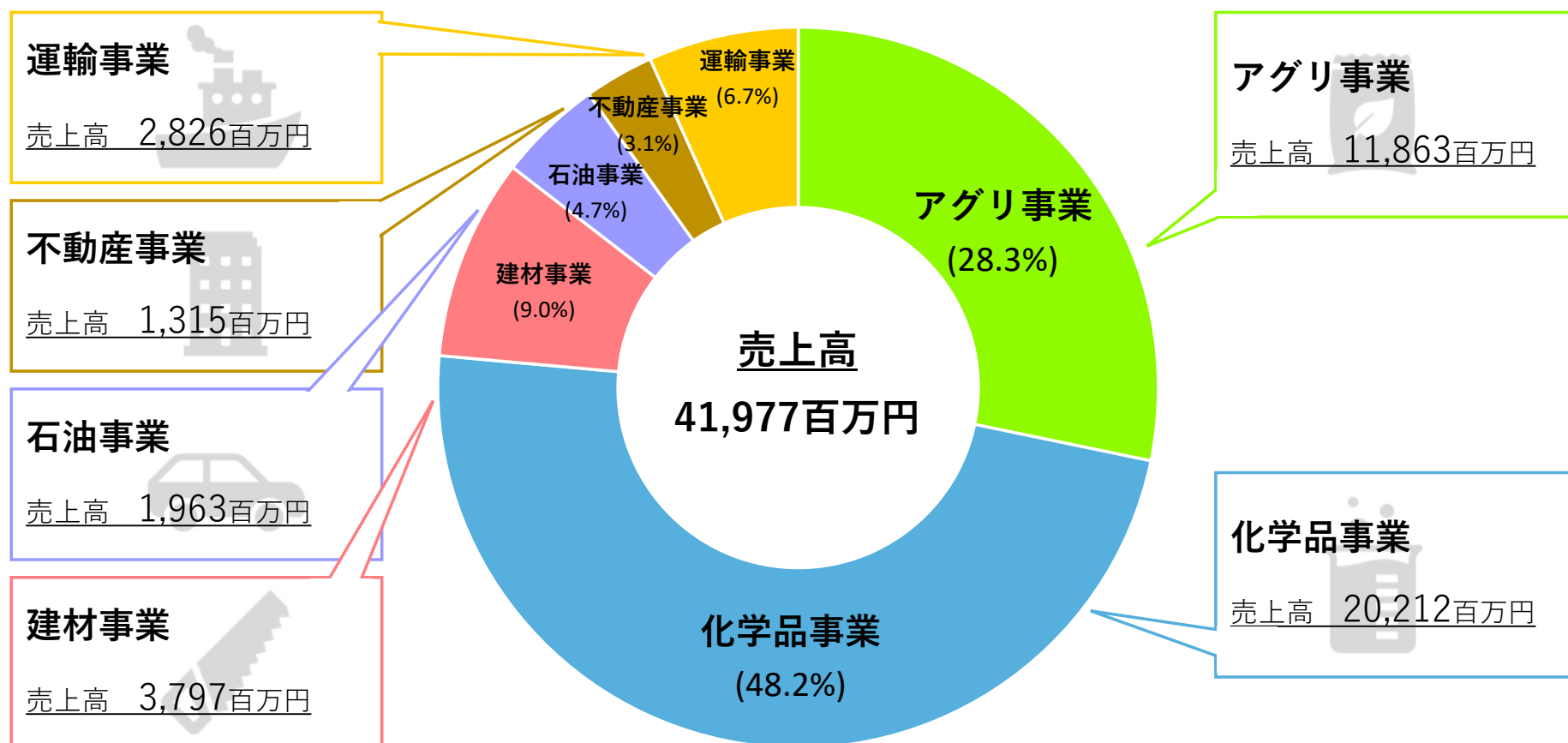
事業構成・グループ組織図(2025年12月期)

多木化学グループ

アグリ事業	多木化学(株)	6社(非連結子会社、関連会社合計)	化学肥料のパイオニアとして日本の農業発展に貢献しています。
化学品事業	多木化学(株) 洛東化成工業(株)		工業薬品から医薬用材料まで広範な分野に貢献しています。
建材事業	多木建材(株)	他1社(関連会社)	石こうボードで豊かな暮らしに貢献しています。
石油事業	しき島商事(株)	他1社(非連結子会社)	地域社会へのエネルギー供給に貢献しています。
不動産事業	多木化学(株) 別府鉄道(株)	他2社(非連結子会社)	地域の活性化と発展に貢献しています。
運輸事業	多木商事(株) 多木物流(株)	他3社(非連結子会社、関連会社合計)	運輸サービスを通じて地域社会の物流に貢献しています。

1. 会社概要 – 事業紹介 –

セグメント売上高構成比(2025年12月期)



※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならないことがあります。
また、セグメント間の内部売上高又は振替高を除きます。

1. 会社概要 – 事業紹介 –

セグメント別売上高、利益(連結)

(百万円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額 (注2)
	アグリ	化学品	建材	石油	不動産	運輸	計		
売上高									
外部顧客への売上高 ①	11,863	20,212	3,797	1,963	1,315	2,826	41,977	–	41,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	72	–	118	79	564	834	▲834	–
計	11,864	20,284	3,797	2,081	1,395	3,390	42,812	▲834	41,977
セグメント利益 ②	485	2,312	152	16	721	308	3,996	▲832	3,163

セグメント別売上高利益率

(%)

セグメント別売上高利益率 (調整額含まず) ②/①	4.1	11.4	4.0	0.8	54.8	10.9	9.5	-	7.5
------------------------------	------------	-------------	------------	------------	-------------	-------------	------------	---	------------

(注) 1. セグメント利益の調整額▲832百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整

1. 会社概要 – アグリ事業 –

セグメント詳細

主な事業内容

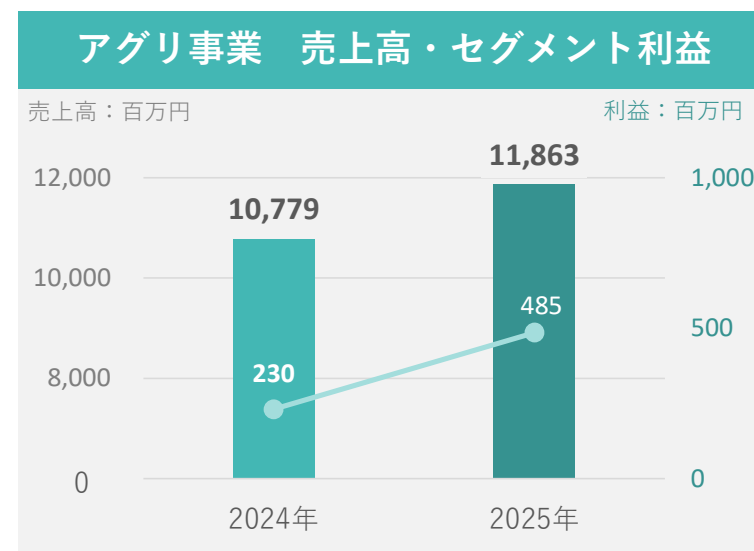
- ・ 肥料・土壌改良材等の製造・販売



当社の強み

- ・ **農事技師による栽培指導**
- ・ 土壌診断に基づく最適な **施肥設計**
- ・ **約700種類の豊富な品揃え**と確かな品質
- ・ 北海道から沖縄まで **全国約800の特約販売店網**を通じた販売体制
- ・ 特約店会、技術研修会による情報提供・共有

農業縮小リスクはあるが、技術営業に強み



1. 会社概要 – アグリ事業 –

YouTubeチャンネル「肥料の寺子屋」

特長

- ・農家様に向けた専門チャンネル
- ・肥料の効果的な使用方法を中心に様々な情報を発信

多木肥料「肥料の寺子屋」LINE

特長

- ・農業に関する話題や、技術情報誌「テクニカルニュース」を配信

YouTube JP



YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCHaWsdgZpnzkdTgJLZ-rKwg>

LINE <https://lin.ee/fnG6UIL>

1. 会社概要 – 化学品事業(水処理薬剤) –

セグメント詳細

主な事業内容

- ・ 水処理薬剤の製造・販売および関連資材の販売

当社の強み

- ・ 本社(兵庫)、千葉、福岡の **自社3工場** による生産体制
- ・ スtockポイントへ船出荷などによる広域供給体制
- ・ 官民さまざまな施設への採用実績と適応ノウハウ
- ・ 原水に最適な凝集剤と投入量を提案する **技術営業力**
- ・ 高性能で環境負荷の少ない新規水処理凝集剤

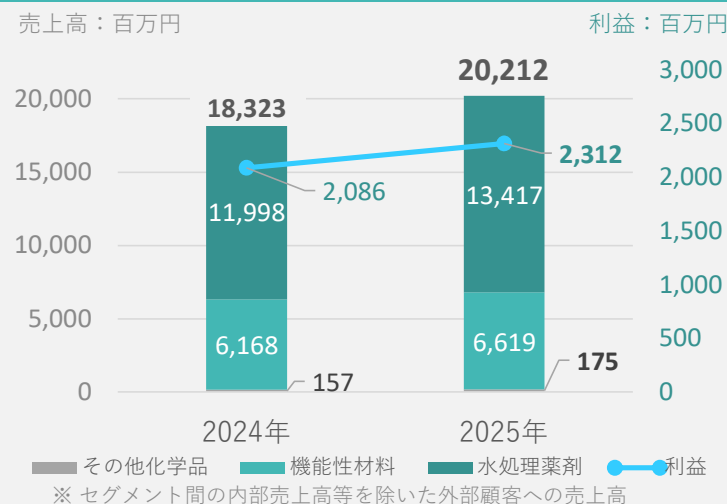
超高塩基度ポリ塩化アルミニウム(PAC700A)

・ **高シェア×全国への安定供給体制**

・ **PAC700Aの「高性能×環境価値」**



化学品事業 売上高・セグメント利益※



1. 会社概要 – 化学品事業(機能性材料) –

セグメント詳細

主な事業内容

- ・ 各種機能性材料の製造・販売

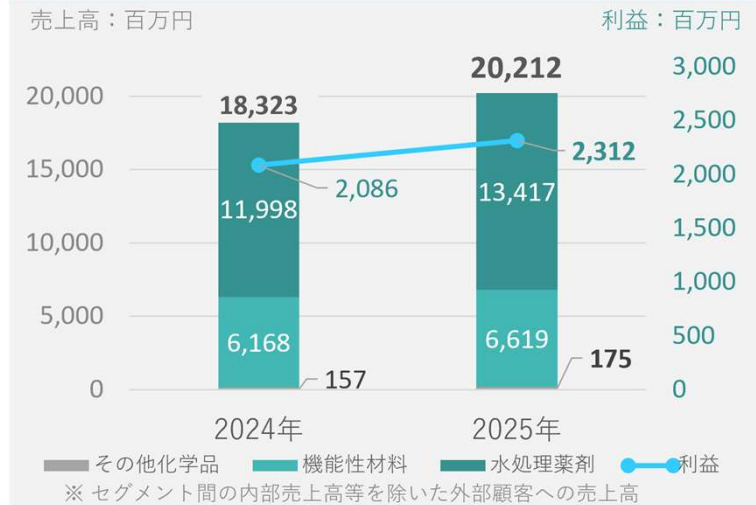
当社の強み

- ・ スマートフォンや自動車排ガス触媒、製鉄、歯磨、医療用材料、化粧品など、**生活インフラ**をはじめとする身の回りの製品の製造に使用される
- ・ 中でも自動車関連セラミック繊維向け高塩基性塩化アルミニウムやスマートフォンなどに使用される高純度酸化タンタルは**高いシェア**を有する

高付加価値製品の販売拡大に注力中



化学品事業 売上高・セグメント利益※



1. 会社概要 – 成長が期待される製品群 –

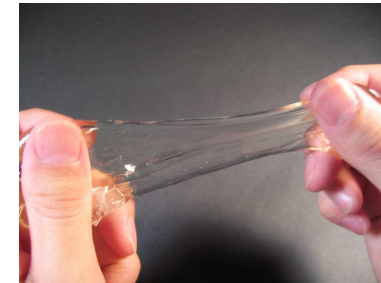
主な事業内容

- ・ 生分解性ポリマー、酸化物ゾル、3重らせんコラーゲンの製造・販売

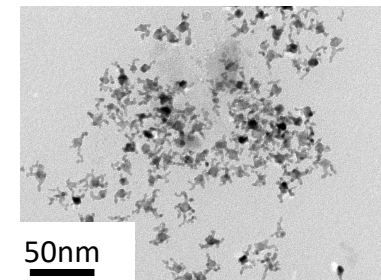
当社の強み

- ・ 生分解性ポリマー： **医薬品原料、医療用材料**として最高品質の高純度生分解性ポリマーを開発。
- ・ 酸化物ゾル： **ナノサイズの酸化物粒子**を分散させた液体。光触媒、帯電防止、紫外線吸収、バインダー、触媒助剤などの様々な機能を付与。
- ・ 3重らせんコラーゲン： **うろこ由来のコラーゲン**。膜、多孔体、繊維などの形状に加工可能で、医療、化粧品、繊維分野を開発。
- ・ バカマツタケ： **マツタケの近縁種の完全人工栽培に成功**。商業化に向けた課題への取り組みを継続中。

将来の事業基盤へ期待



生分解性ポリマー



酸化物ゾル



3重らせんコラーゲン

1. 会社概要 – 不動産事業 –

セグメント詳細

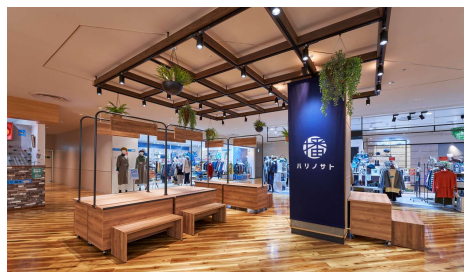
主な事業内容

- ・ 商業ビルや不動産の賃貸

当社の強み

- ・ **社有地**を活かした不動産開発
- ・ 加古川市南東部エリアの**商業地域の中心**
- ・ 地域のニーズやコミュニティの特性を考慮した

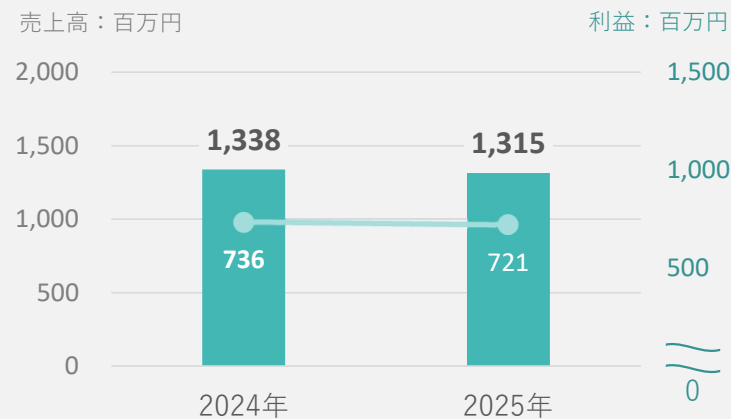
住み続けられるまちづくりへの貢献



社有地の有効活用で安定収益



不動産事業 売上高・セグメント利益※



※ セグメント間の内部売上高等を除いた外部顧客への売上高

1. 会社概要 – その他事業(連結子会社関係) –

セグメント詳細

建材事業

石こうボードの製造・販売

多木化学 本社工場で発生する副生石こうや、建築現場からのボード端材の一部を有効活用し、石こうボードを製造・販売



(百万円)	2024年	2025年
売上高	3,702	3,797
セグメント利益	54	152

石油事業

石油製品の販売、車検整備

サービスステーションでの石油製品の販売を中心に、自動車の点検・整備・修理および販売を担う



(百万円)	2024年	2025年
売上高*	1,957	1,963
セグメント利益*	13	16

運輸事業

海上および陸上輸送、倉庫業

一般港湾運送事業、港湾荷役業、船運送業、内航海運業、倉庫業、通関業、トラック運送業を担う



(百万円)	2024年	2025年
売上高*	2,813	2,826
セグメント利益*	296	308

※ セグメント間の内部売上高等を除いた外部顧客への売上高

1. 会社概要 – その他事業(連結子会社関係) –

2025年1月 洛東化成工業株式会社の連結子会社化



主な事業内容

- ・ 各種工業用酵素剤および繊維工業用薬剤の製造・販売

洛東化成工業の強み

- ・ 繊維用糊抜き剤のトップメーカー
- ・ 微生物培養をコア技術に据えた自社微生物剤の製造販売
- ・ 各種微生物の受託培養

期待されるシナジー

- ・ アグリ分野の微生物関連製品(バイオスティミュラント)による事業拡大
- ・ 化学品分野の工業用酵素剤による事業拡大
- ・ 研究開発における微生物培養・酵素技術の応用
- ・ 海外等販路の活用



本社：滋賀県大津市



微生物の培養装置

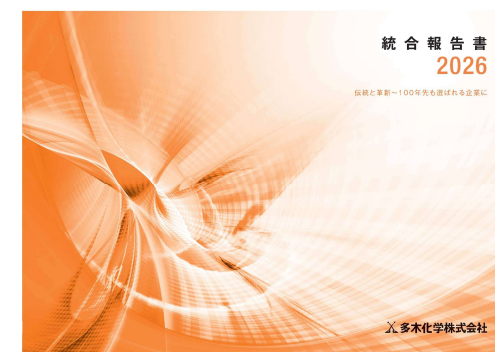
1. 会社概要

当社ウェブサイト

- ◆ 当社の最新情報をわかりやすく紹介
- ◆ 製品・会社紹介のほか、「統合報告書」や「サステナビリティビジョン2030」などの各種財務・非財務データを掲載



URL <https://www.takichem.co.jp/index.html>



本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

3. 業績・財務状況

4. 株主還元・株価推移

5. サステナビリティへの取り組み

2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

「長期ビジョン2050」

〈多木化学グループ理念〉

多木化学グループは創業者精神に則り自然と環境を守り
確かな価値の創造を通じて豊かな社会の実現に貢献します

〈多木化学グループミッション〉

伝統と革新～100年先も選ばれる企業に

多木化学グループは、従業者とその家族の物心両面の幸福を追求するとともに、伝統と歴史に裏打ちされた既存事業の深化と革新的な新規事業の開拓により、持続可能な企業として社会へ貢献し続けます。

2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

「長期ビジョン2050」

〈多木化学グループのありたい姿〉

環境、社会、地域に配慮した持続可能な事業戦略の実践

未来予測が困難なVUCA時代、私たち多木化学グループは、2050年のありたい姿を明確化することによって、強みを活かしながら変わりゆく環境に適合してゆきます。環境、社会、地域を戦略の軸として、アグリ、化学品、不動産の3本の柱をさらに深化させるとともに、独創的、革新的な新事業・新商品で、持続可能な企業経営をめざします。



長期ビジョンの課題は、より具体的な推進項目として中期経営計画に反映

バックキャストिंग



2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

「長期ビジョン2050」

◆戦略イメージ

【アグリ事業】



■ありたい姿

“Try Agriculture”

■実現したいこと

1. 国内市場の趨勢、カーボンニュートラルを考慮した生産体制の合理化、および肥料生産・栽培ノウハウを生かした海外市場への参入
2. 農産物生産事業への進出と高付加価値作物のブランディング、新たな販売ソリューションの創出

2025年のトピックス

- ・肥料の新生産方式を検討
- ・水稻栽培を実施 拡大生産を検討していく

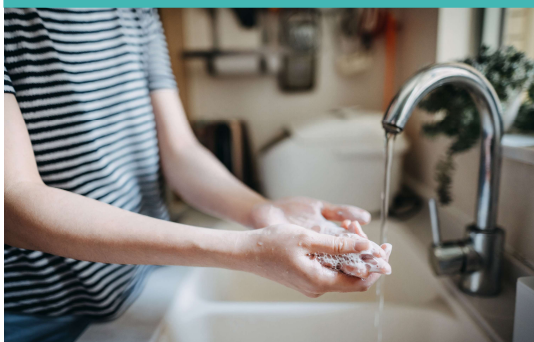


2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

「長期ビジョン2050」

◆戦略イメージ

【化学品事業】



■ありたい姿

環境に配慮した化学素材で循環型社会を実現

■実現したいこと

1. 環境配慮型の水処理薬剤の浸透と海外市場への参入
2. 成長マトリクスの展開による機能性材料の事業拡大

2025年のトピックス

- ・ 環境配慮型水処理薬剤（PAC700A）の需要増加を受け、増強計画を策定
【九州工場の生産能力2倍（2027.3稼働予定）】
【本社工場の増強計画を検討】
- ・ 海外展開では進出国をマレーシアに決定し、現地駐在を実施予定
- ・ アルミ材料を中心とした機能性材料の新銘柄開発と新用途探索

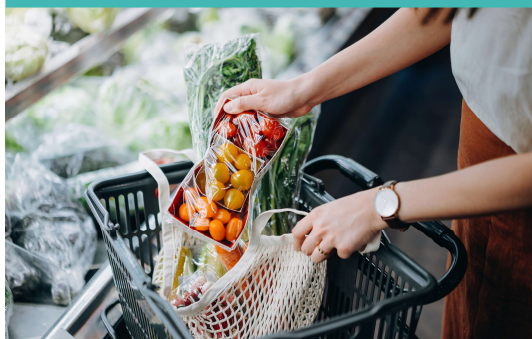


2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

「長期ビジョン2050」

◆戦略イメージ

【不動産事業】



■ありたい姿

自社開発エリアのコンパクトシティ化

■実現したいこと

1. 自社開発エリアの再開発によるコンパクトシティ化
2. 関連事業への進出による新たな収益機会と雇用機会の創出

2025年のトピックス

- ・ 推進チームとコンサルティング会社による「べふミライ会議」を発足し、1stステップ（まちづくりブランディング案）」を策定。行政や地元企業への働きかけにより計画を推進。
- ・ ビジネスホテル「たびのホテル」を誘致（9階建・約172室 2025年9月開業）



2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

「長期ビジョン2050」

◆戦略イメージ

【新事業・新商品】



■ありたい姿

“独創性を育むチカラ”で、未来を築く新事業・新商品を開発

■実現したいこと

1. 当社の多彩な研究開発力を拡大・融合し、革新的な商品を開発
2. 産官学連携、M&Aなどあらゆる手段を駆使して社会課題を解決する新事業・新商品を創出

2025年のトピックス

- ・ 2025大阪・関西万博では、クオリプス株式会社と共同開発した「自立拍動するiPS心筋ミニ心臓およびiPS心筋シートを展示」
- ・ 次世代に発展する成長事業の創造を担う研究グループと既存事業の生産性向上を担う技術部という役割分担を明確にした体制とし、2025年夏には本社に隣接する新たな研究拠点を設置



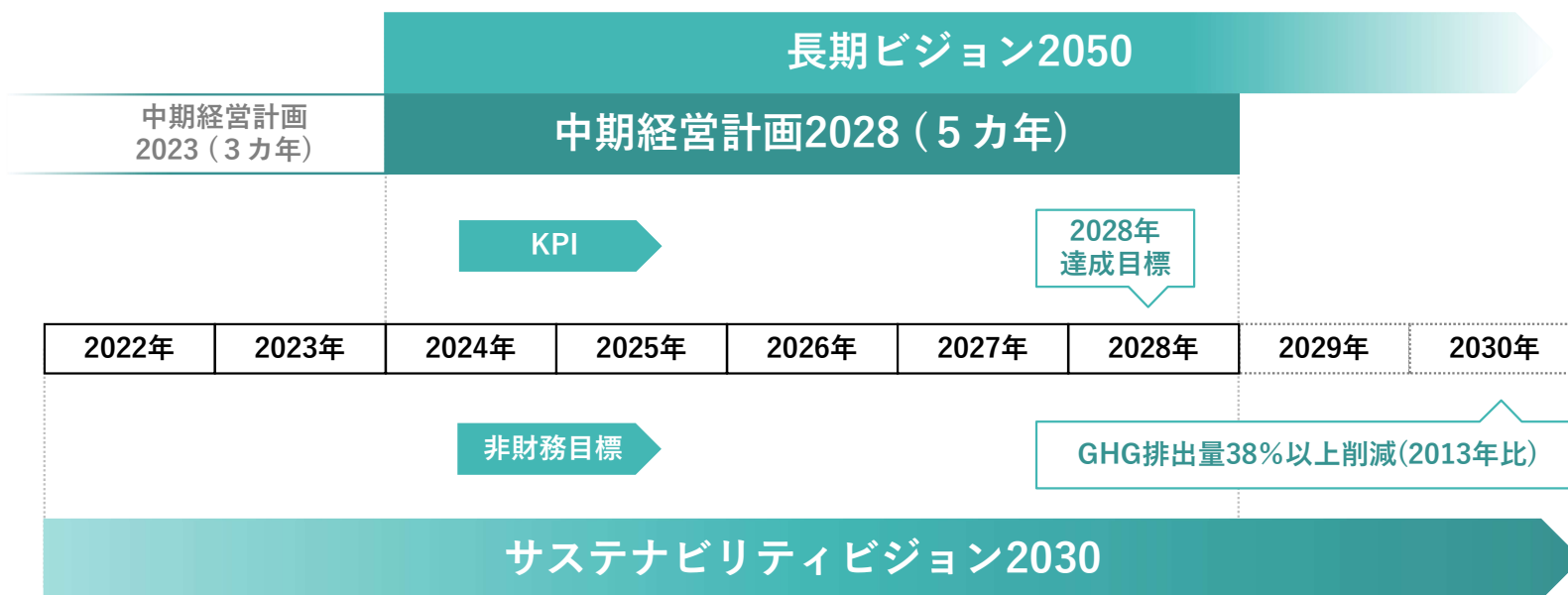
2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

「中期経営計画2028」

〈概要〉

- ・「中期経営計画2028」の達成目標および推進項目は「長期ビジョン2050」からバックキャスト
- ・非財務目標については「サステナビリティビジョン2030」に基づき、気候変動への対応や人的資本への投資などを推進

■スケジュール



2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

「中期経営計画2028」

◆基本方針

成長事業への積極的投資と新事業の創出

ライフサイエンス

- ・医療用材料事業の拡大
- ・コラーゲン事業の確立
- ・バカマツタケの事業化



機能性材料

- ・ナノ材料の拡販
- ・技術革新による新用途、新商品の開発
- ・環境配慮型、社会課題解決型製品の新規開発



M&A、海外進出

- ・業務提携による事業拡大
- ・資本提携による多角化
- ・海外市場の開拓



既存事業の深化による収益力向上

アグリ事業の継続力強化

- ・生産・販売・在庫の最適化
- ・モーダルシフトの推進
- ・環境配慮型製品の開発
- ・アグリ関連新事業への進出



水処理事業の新展開

- ・超高塩基度PACの市場浸透
- ・新たな環境配慮型凝集剤の開発
- ・原料の安定調達とコスト削減



不動産事業領域の拡大

- ・コンパクトシティ化
- ・リノベーション事業およびフランチャイズ事業への進出検討



2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

「中期経営計画2028」

◆基本方針

サステナビリティ・トランスフォーメーションの実践

気候変動への対応

- ・省エネルギーの推進
- ・再生可能エネルギーの導入
- ・サプライチェーンを含めた温室効果ガスの削減
- ・気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)への対応



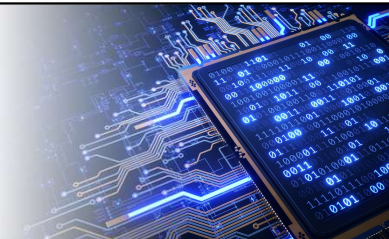
人的資本経営の推進

- ・平等な機会提供と女性活躍の推進
- ・個別キャリアパスの構築と成長促進
- ・継続的スキル開発と最新知識習得のサポート
- ・円滑なコミュニケーションとフィードバック文化の構築
- ・従業員エンゲージメントおよび職場環境の向上、健康経営の促進



DXの推進

- ・RPAの活用および生成AIの導入による業務効率化
- ・ITリテラシーの向上
- ・ICTによる情報発信の多様化



GRCの推進

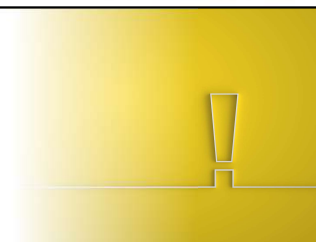
G：ガバナンス

- ・取締役会の実効性の向上と独立性の確保
- ・適時適切な透明性の高い情報開示の徹底
- ・監査等委員会との連携による監査、監督機能の強化
- ・ステークホルダーとのコミュニケーションの充実
- ・地域社会への貢献



R：リスク管理

- ・リスクマネジメント体制の強化
- ・定期的なリスクの見直しによるリスクマップの更新に基づく対応
- ・BCPに基づく事業継続性の強靭化
- ・情報セキュリティの強化



C：コンプライアンス

- ・強固なコンプライアンス体制の確立・浸透・強化
- ・内部統制システムの実効性の向上
- ・法令、規制変更への迅速な対応
- ・社内通報制度による問題の早期発見と自浄作用の強化



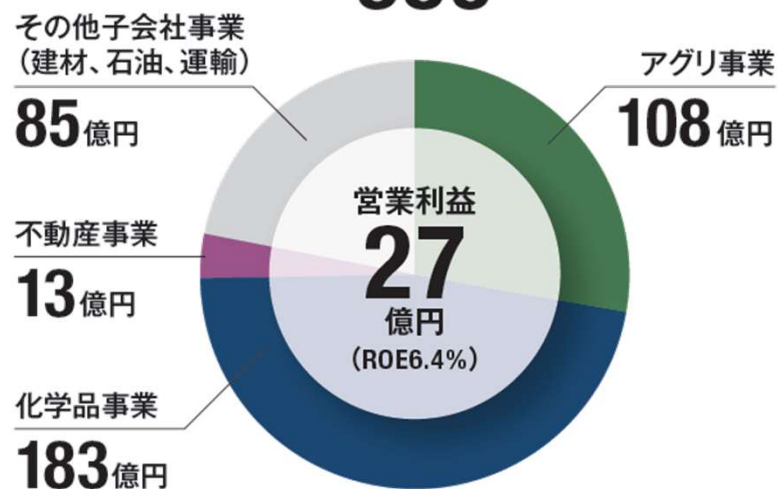
2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

「中期経営計画2028」 1年目・2年目の実績

▶ 1年目

2024年実績(連結)

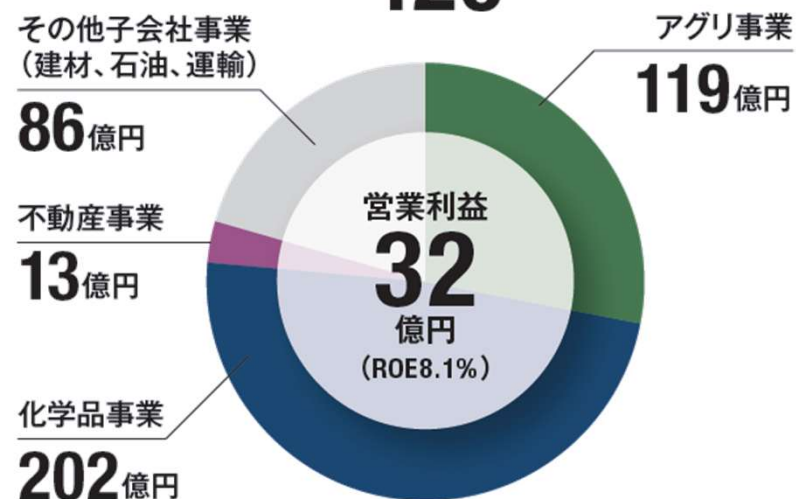
売上高 **389** 億円



▶ 2年目

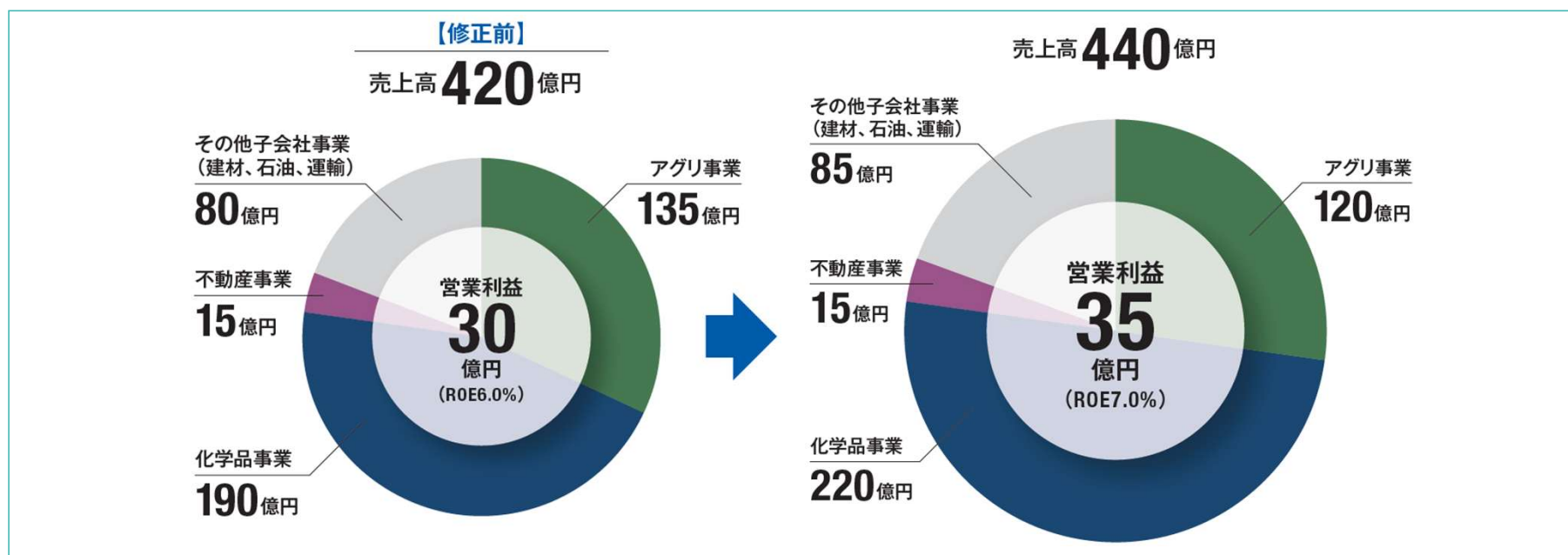
2025年実績(連結)

売上高 **420** 億円



2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

「中期経営計画2028」 最終年度目標の上方修正（2026年2月9日公表）



本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

3. 業績・財務状況

4. 株主還元・株価推移

5. サステナビリティへの取り組み

3. 業績・財務状況

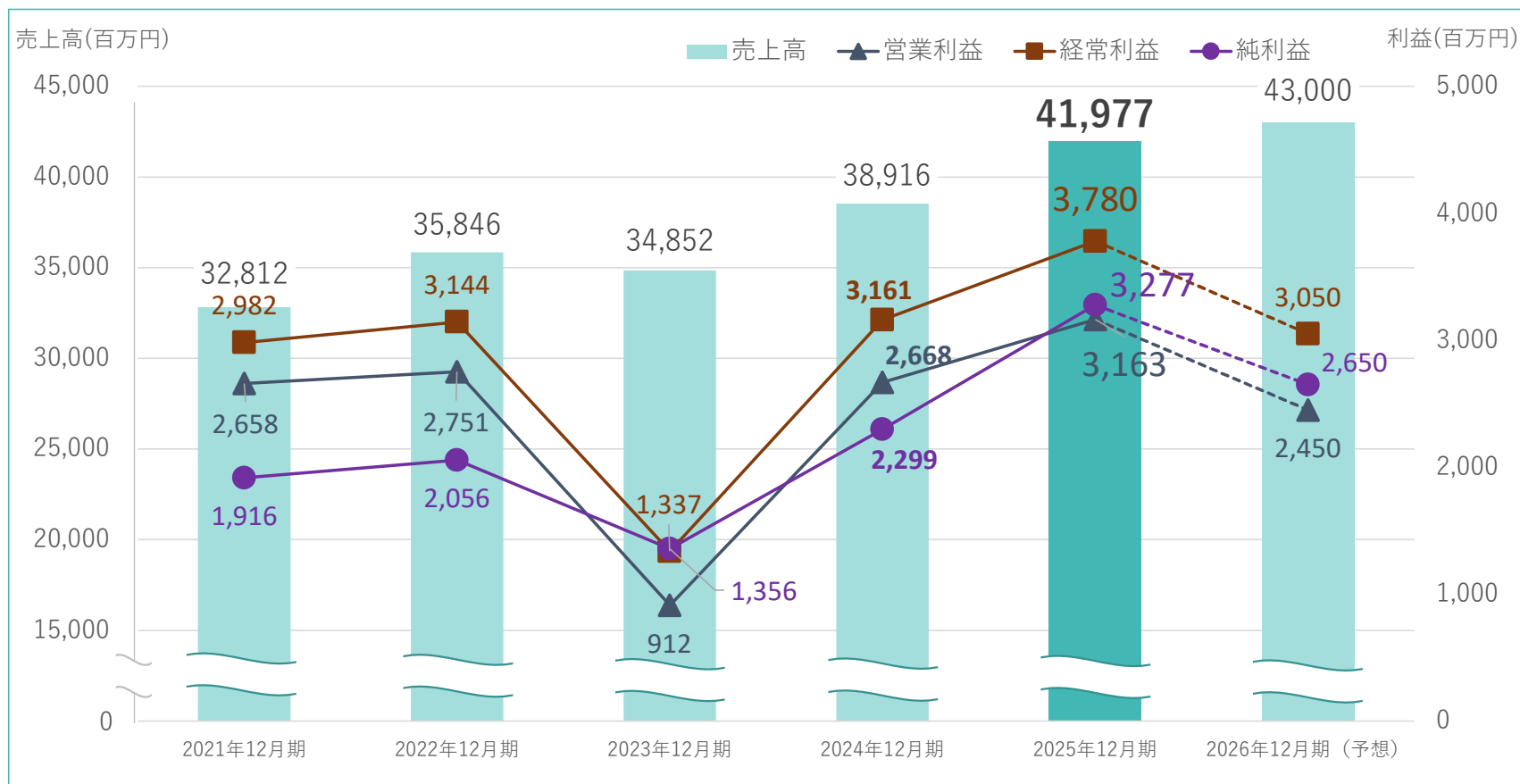
2025年12月期 業績概要(連結)

(百万円)

	2024年 12月期	2025年 12月期	前期比		2026年12月期 業績予想
			増減額	増減率	
売上高	38,916	41,977	+3,061	+7.8%	43,000
営業利益	2,668	3,163	+495	+18.6%	2,450
経常利益	3,161	3,780	+619	+19.6%	3,050
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,299	3,277	+978	+42.5%	2,650

3. 業績・財務状況

2025年12月期 業績推移(連結)



3. 業績・財務状況

主要経営指標等※1

自己資本当期純利益率 (ROE)	8.1%	有形・無形固定資産 の増加額	1,593百万円
総資産経常利益率 (ROA)	6.1%	減価償却費	1,369百万円
売上高営業利益率	7.5%	EBITDA※2	4,533百万円
自己資本比率	65.3%	キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	1.2年
時価ベースの自己資本比率	48.6%	インタレスト・カバ レッジ・レシオ	139.7倍

※1 2025年12月末現在(データは連結)

※2 「税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

本日のご説明内容

1. 会社概要

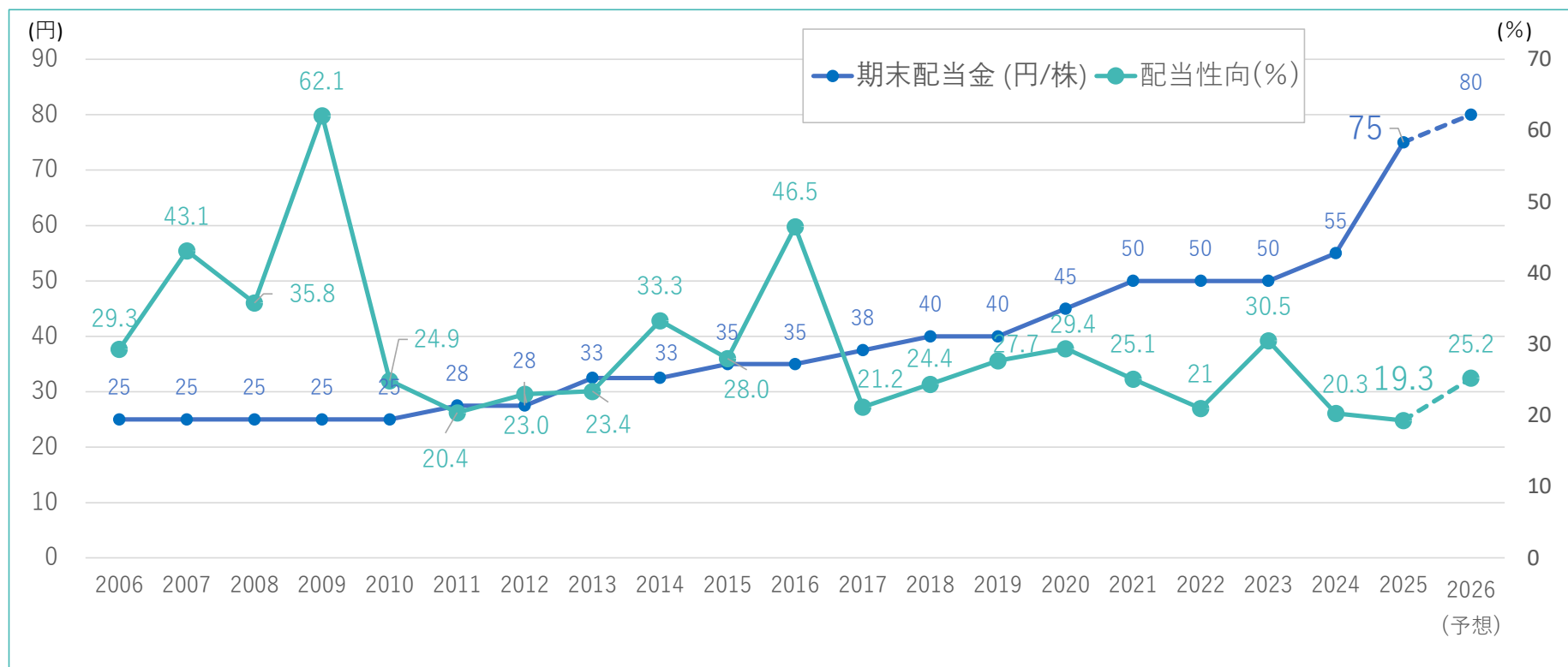
2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

3. 業績・財務状況

4. 株主還元・株価推移

5. サステナビリティへの取り組み

4. 株主還元・株価推移



過去20年間の安定配当

連結配当性向30%以上を目安としつつ、「累進的な配当」を意識した安定的かつ継続的な配当を基本方針

令和8年2月9日開示「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」より引用

4. 株主還元・株価推移

株主優待制度

◆対象株主様

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された1単元以上の株式を保有されている株主様

◆優待内容

定時株主総会終了後の毎年3月下旬に、決議通知等とともに次の基準の保有株式数に応じて、クオ・カードを贈呈させていただきます。



保有株式数	優待内容
400株以上	クオ・カード(3,000円分)
100株以上400株未満	クオ・カード(1,000円分)

4. 株主還元・株価推移

株価チャート



<PBR 1倍超に向けた取り組み>

- ・高付加価値製品の比率引き上げ
- ・成長投資の推進

URL <https://www.nikkei.com/smartchart> (日経スマートチャートプラス提供)

本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 長期ビジョンおよび中期経営計画





3. 業績・財務状況

4. 株主還元・株価推移

5. サステナビリティへの取り組み

5. サステナビリティへの取り組み

マテリアリティと重要課題

マテリアリティ	関連するSDGs	重要課題
1. 持続可能な地球環境への貢献		①気候変動への対応 ②サーキュラーエコノミーの推進
2. 製品・サービスを通じた環境と社会への貢献		③新製品・新技術の研究開発 ④環境配慮型、社会課題解決型製品・サービスの提供
3. 人的資本経営の推進		⑤人権尊重と働きやすい職場づくり ⑥人材育成とダイバーシティの推進 ⑦業務効率化と生産性向上
4. ステークホルダーエンゲージメントの向上とGRCの推進		⑧ステークホルダーエンゲージメントの向上 ⑨ガバナンス（G）の強化 ⑩リスクマネジメント（R）の強化 ⑪コンプライアンス（C）体制の維持・強化

5. サステナビリティへの取り組み

人材の価値を最大限に引き出す人的資本経営

人的資本

多様な人材の確保

安心して働き続けられる環境整備

施策推進

- ・ジョブローテーション
- ・パーソナリティ診断
- ・1 on 1 ミーティング
- ・従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度の導入



- ・教育制度の充実
→次世代の経営幹部養成研修
- ・人事制度の見直し
→キャリアパスの明確化など
- ・女性活躍推進委員会の設置

人材ポートフォリオに基づいた適材適所の人材配置

人が育ち、会社が伸びる好循環

価値創出

企業価値最大化

おわりに



100年先も選ばれる企業に

ご清聴ありがとうございました。

※本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。また、将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。当然、予想と違う結果となることがあることを十分にご認識の上ご活用ください。

2026年6月5日



個人投資家様向け会社説明会 質疑応答

 **多木化学株式会社**

(証券コード：4025)

代表取締役社長 多木 勝彦